

患者さんへ

「経口新型コロナウイルス感染症治療薬に関する薬剤師の介入事例調査」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2022年3月～2022年8月に当院で経口の新型コロナウイルス感染症治療薬(以下、コロナ治療薬)のニルマレルビル・リトナビル(パキロビッド®)もしくはモルヌピラビル(ラゲブリオ®)を処方された患者さん。
2 研究目的・方法	コロナ治療薬が開発され治療の選択肢は拡大しました。しかし、コロナ治療薬は腎機能によって用量調節が必要で併用禁忌薬や併用注意薬も多く存在します。また、コロナ治療薬を使用する対象となるのは高齢者や基礎疾患がある方などハイリスクな患者さんであるため、薬剤師の確認は重要と考えられます。本研究は、開発されてから間もないコロナ治療薬に対する薬剤師の介入事例を明らかにすることで、薬剤師がコロナ治療薬の適正使用に寄与できることを解明するために行います。 研究の期間:施設院長許可後～2023年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、来院時間、来院時の検査値、服用している薬 等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 宮下 葉 湘南鎌倉総合病院 薬剤部 薬剤師 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2023年4月30日作成(第1.0版)